

その283

クローズアップ21

メンバー対象のヘルスチェックイベント 春日台カントリークラブ

メンバー様に喜ばれる健康経営を元にウェルネスツーリズムを目指す



春日台CC松尾秀俊支配人

春日台カントリークラブ（27
H、奈良県天理市）は、標高約
510mに位置する丘陵コース。
同クラブを運営する㈱ロートピ
アは、経営母体であるロート製
薬㈱の100%子会社である。
ゴルフ場のメンバー数は約1
500人で、23年度の来場者数
は約4万2000人。来場者比
率は女性来場者比率が約10%、
平日はビジターが多く、来場者
の6〜7割は大阪府という。グ
リーンはベント1グリーン。
今回は同クラブの瀬木英俊代
表取締役、内藤勝章専務取締役
松尾秀俊支配人からヘルスチ
ェックイベントやゴルフツーリ
ズム、健康経営などの取り組み
について話を聞いたので、順番
で紹介する。

**TGT M参加や外国人対応
をきっかけに高級ホテルと
連携したインバウンドの受
入れ等**

松尾支配人は、昨年9月に行
われたタイ国政府観光庁（TAT）
主催の『Thailand Golf Travel
Mar2023（TGT M2023）』
に出席。同イベントに参加して
大きな刺激を受けたという。

「ゴルフツーリズムについては、
現状はゴルフ場にまだまだ影響
していない状況です。以前から
オープンにはしているのですが、
受け入れる窓口に通り着く経路
が出来上がっていません。ツー
リズムイベントには、海外の方
々とオープンな経路を作ってい
けたらと思います、参加しました。
そちらで勉強させてもらったの
は、タイのゴルフ場が本場にオ
ープンで色々な政策を行いな
がら呼び込もうとしていました。
名門コース問わず分け隔てなく
ウェルカムでやられていること
が勉強になったので、良い部分
を残しつつオープンにできると

ころはしていきたいと思っ
ます。

今回、スイスのご夫婦が高級ラグジュアリーホテル「ふふ奈良」よりご来場されました。ホテルに泊まっていたご夫婦が『ゴルフがやりたい』と色々なゴルフ場に連絡していたそうです。なかなか英語に対応出来るゴルフ場がなかったため、英語を話す派遣社員さんに色々とお世話をしていたきました。受入態勢はできているので、これからホテル側に営業をかけていきたいと思えます。

奈良県は今まで滞在型の観光地ではなかったのですが、これからは奈良に滞在してもらって、ゴルフツーリズムを楽しんでいただけるように「JWマリオットホテル奈良」や「紫翠ラグジュアリーコレクションホテル奈良」、今秋開業の「ノボテル奈良」など高級ホテルを中心にインバウンドの受け入れ態勢を整えていきたいです。メンバーさんに関してはタイの繋がりがあ
るので、来年冬場などに皆で暖

かい東南アジアでゴルフができれば良いなと思えます」(松尾支配人)

7月21日にメンバーを対象としたヘルスチェックイベント開催

春日台CCは、メンバーを対象に「ヘルスチェックイベント」を開始した。

7月21日に行われたイベントでは、メンバーのラウンド前やハーフ終了後の空き時間などを利用して、足の重心を測る『フットストレス診断』や肌のキメ



フットストレス診断は真っ直ぐな姿勢で30秒間キープ

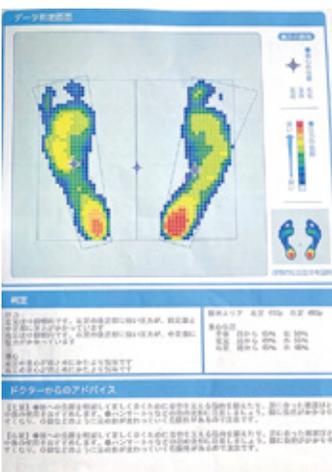


肌チェックは、ほぼと小鼻に検査機を当てて測る

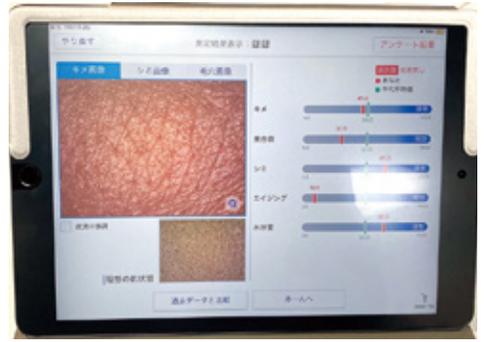
などを測定する『肌チェック』を実施した。フットストレス判定では、靴を脱いで検査機の上に立ち、真っ直ぐな姿勢で30秒間をキープして測定する。この

チェックでは両足の接地エリア、足の重心位置、O脚傾向などが分かるとのこと。大抵のゴルフファ
ーはアドレスの際に前かがみになるため、重心がどうしても前になる傾向が多い。イベントブースにいたプロのフットケ
アリストは「真っ直ぐな姿

勢を維持するには、重心の6、7割をかかとにかける意識で、周りから分らない程度に膝を少し緩めるのが理想です」と話した。また、肌チェックでは、ほぼと小鼻に機械を当てて、キメ画像、シミ画像、毛穴画像から5項目(肌のキメ・美白値・シミ・エイジング(キメやシミを含めた総合値)・水分量)を診断する。肌チェックの診断に一喜一憂するメンバーは多かったが、スタッフから「スキンケアをする際にはゴシゴシすると肌のキメやたるみ、水分量に大きく影響するので、肌をなるべく優しく触るようにして下さい」とアドバイスされていた。



判定結果はその場でプリントされ、重心位置の傾向やアドバイスが書かれている



肌のキメや水分量が分かる

内藤専務取締役はヘルスケアイベントを始めた経緯などについて次のように語った。

「ゴルフ場にお越しのメンバーさんはお元気な方が多いです。しかし、高齢化も進んでいて『人生100年時代』ともいわれている中で1日でも1年でも長くゴルフ場にお越しただけるように、歩き方・立ち方の矯正をしていただくことで腰痛や膝の痛みは軽減するお手伝いが出来たらと思うことがきっかけです。今回が2回目で、昨年終わりの平日に試験的に実施したところ、ビジターさんも多く人が

あまり集まりませんでした。日曜日は女性メンバーの方や夫婦でお越しになられるメンバーさんも多いので、今後はメンバーさんのために、1年に1回の土日または半年に1回のペースで定期的に開きたいと思います」

今年2月に山下プロ&平田プロFAN感謝デーを開催。月1回の日曜日にジュニアレッスン実施も

春日台CCでは、今年2月に「山下美夢有プロ&平田憲聖プロFAN感謝デー」を開催した。



ジュニアレッスンのパッティング練習



コースでドライバーを打つジュニアゴルファー

イベント当日は50人のジュニアゴルファーが参加。ゴルフ場側としては、実際のプロのプレーを見て、話を聞きながらゴルフアーツとしての教育をしっかりと教えていくなどジュニア育成に貢献していかれたらの思いもあり、メンバーラウンドに支障の無い範囲で練習場を貸し出したという。春日台では、2013〜2019年まで『春日台ロートジュニアカップ』を開いており、その大会ディレクターを務めていた土井二美プロが今回の感謝デーを企画したとのこと。



天然芝に向かって打てる全20打席の練習場

山下プロと平田プロは当時のロートジュニアカップに参加していた卒業生である。

今後、同クラブでジュニア競技を実施する予定はないが、ジュニアゴルファー対象のレッスンをゴルフ場の競技スケジュールに合わせ月1回の日曜日に実施している。レッスンはドラコンチャンピオンの実績があるティーチングプロが指導。練習場や練習グリーンでスイングチェックを行った後、実際にコースに出るといふ。

練習場は天然芝に向かって打



昨年に改修した東3番ホール

てる全20打席。要望があれば、地域貢献型イベントで場所を貸したり、所属プロからのワイポイントレッスンなども行っている。

昨年に東3・9番Hを改修

ゴルフ場のコース改修などについて松尾支配人に話を聞いた。「近年のコース改修については、メンバーさんの声を基に、昨年に東3番ホールをロングからミドルホールに、9番ホールをミドルからロングホールに改修し

「ゴルフと健康」のポスターでメンバーに健康を促す



プのゴルフ場ですので、健康経営には特に力を入れているところです。ゴルフ場は「Connector Well-being」という会社の広場となっております。現在取り組んでいるウェルビーイングや人材育成プログラムは、ロートとしての製造業とゴルフ場としてのサービス業では若干異なるところがあるのですが、メンバーの皆様や従業員が出来るだけ長く健康でいることを一番大事にしています。今、グループとして行っていることは時間管理です。残業をゼロにすることはではないですけど、ゴルフ場は自然との戦いですので、日々の温度差に対応しながら、業務効率を良くしてなるべく休み時間を作ってもらうようにしています。それから、一旦、仕事を卒業されたシニアの方に対しても長く勤められた後も継続雇用できるサポートをしていきたいと思っています。

て、より戦略的に仕上げました。また、クラブハウス内は3年程前に古い施設を更新しつつ、プロショップのエリアも変えています。メンバーさんの平均年齢が60代後半なので、メンバーには健康第一でプレーしていただけるよう高齢者に優しいゴルフ場を目指していくべきだと思います」(松尾支配人)

業務効率を上げて従業員の休み時間を作り、来場者が喜ぶ健康経営へ

同社の健康経営について瀬木代表取締役よりお話をいただきました。

「当CCは、ロート製薬グルー

また、ウェルビーイングでは、

最後に、専務取締役と支配人から意気込みを聞いた。「ゴルフ場の歴史と伝統を継承しつつ、世代交代とともに変化させていく部分も必要かと考えていますが、会員さんのクラブライフを快適にするための運営は、引き続き大切にしていきます」(内藤専務取締役)

「まだ、提携はできていませんが、今後はウェルネスも絡めてインバウンドにも力を入れていくべきだと思います。インバウンドの経緯ができた段階でヘルスチエックなども含めて総合的なウェルネス、ゴルフツーリズムができたらいですね」(松尾支配人)